OB News

公益社団法人全国野球振興会
［日本プロ野球OBクラブ］ vol.66 2015 Summer

© 水島新司
全国野球振興会
イメージキャラクター
「9ちゃん」

第21回ダイワハウス全国少年少女野球教室

全国47都道府県で開催!

高校野球100周年記念

～それぞれの時代と甲子園に馳せる想い～

夢を叶えたプロアスリートの「セカンドキャリア」

0歳から100歳まで
動けるカラダづくりをサポート
ZERO 100 PROJECT

本物のスポーツトレーナーになろう！

スポーツトレーナー【Sport trainer】

スポーツ競技選手の健康や体調の管理、技術指導を行う指導者、及び、その技術を一般の人にサービスとして提供する人物の総称。

世界の舞台で戦う金メダリストにも、プロ野球選手にも、角界の横綱にもアスリートのパフォーマンスを最大限に引き出すための熱きスポーツトレーナーがそばにいる。

夜間週3日で柔道整復師・鍼灸師が取得できる
安定の国家資格が人生を支えます。

2016年4月新校舎へ移転！
JR小倉駅より徒歩10分!!

NEW! 2016年 看護学科 開設！
設置計画中

0歳から100歳までの動けるカラダづくりをサポートする人財を育成

学校法人 国際学園
九州医療スポーツ専門学校
KYUSHU MEDICAL SPORTS VOCATIONAL SCHOOL

■ 一号館（東篠崎校舎）
〒802-0072 福岡県北九州市小倉北区東篠崎1丁目9-8
■ 二号館（片野校舎）
〒802-0064 福岡県北九州市小倉北区片野3丁目5-16
■ 新校舎
〒802-0077 福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目1-2

0120-594-160
http://www.kmsv.jp/
九州医療スポーツ 検索

過去最多418名

プロ野球OBが全国の子どもたちを直接指導!

第21回ダイワハウス 全国少年少女野球教室 を開催しました!!

5月10日(日)に、全国47都道府県48会場で野球教室を開催しました。本教室は、1995年から「100万人の子どもたちとキャッチボールを!」をテーマとして掲げ、野球を通じてのスポーツの普及・振興及び青少年の健全育成、体力増進を目指しています。大和ハウス工業株式会社様の特別協賛を得て、本年も北は北海道稚内市から南は沖縄県八重瀬町まで全国で9,353人の子どもたちが参加、過去最多418名のプロ野球OBが指導にあたりました。

本年のメイン会場は茨城県北茨城市でした。2011年の東日本大震災の際、球場施設のあちこちが大きく破損し、やむなく開催を断念した球場だったこともあり、今回北茨城市民球場で野球教室を開催できたことは、とても感慨深い思いがありました。

北茨城市民球場には小学1年生から中学3年生237名が参加し、理事長八木澤、ならびに茨城県ご出身の江尻亮さん(元大洋)、鴨川清さん(元日本ハム)、根本学さん(元大洋)、銚子利夫さん(元大洋)、仁志敏久さん(元巨人)、上野忠さん(元ヤクルト)をはじめ経験豊富な講師陣11名が参加しました。

北茨城市の関係者の皆様の素晴らしい連携・協力と、青島健太さん(元ヤクルト)のMCでのリードもあり、順調に、そしてとても充実した時間が流れていきました。

昨年に引き続き開催したキャッチボールリレーは今年も大好評!OBの皆さんのデモンストレーションを見本に競争し、とても盛り上がりました。中学生チーム、小学生チームの各優勝チームがOBチームと対決。接戦でしたが、見事小学生チームが勝利しました。

今回は、エポック社様より野球盤をご提供いただいたので、受講者全員参加のじゃんけん大会を開催しました。激戦を勝ち上がった受講者に野球盤をプレゼントしました。

茨城会場だけでなく、多くの会場が笑顔でいっぱいの一日になったことと思います。

野球の技術を向上させるだけでなく、仲間とともに笑い、スポーツマンシップや感謝の気持ちを感じることにより、将来を担う子どもたちが心身ともに健やかに成長する、思い出の一日となっていたら、とても嬉しいです。

本教室開催にあたり、多大なご尽力をいただきました大和ハウス工業株式会社様をはじめとする協賛企業、関係機関の皆様に、深く感謝申し上げます。

Topics 02 学生野球資格回復研修制度

2015年度学生野球資格回復研修制度 《実施予定》

プロ野球出身者が学生野球資格を回復するには、NPB主催の「プロ研修会」と日本学生野球協会主催の「学生野球研修会」を受けなくてはなりません。各研修会の修了証受領後、各自が「学生野球資格回復審査委員会」に「資格回復届」を提出し、日本学生野球協会から承認されることで学生野球資格の回復が実現します。

OB会員の皆さんには、今号の会報誌に開催告知を同封しています。受講希望の方は、受付期間内のお申し込みをお忘れなく!

Step. 1 プロ研修会受講

開催日：11月28日(土)大阪会場
11月29日(日)東京会場
1日間(5時間程度)

Step. 2 学生野球研修会受講

開催日：12月12日(土)・13日(日)東京会場
12月19日(土)・20日(日)大阪会場
2日間(各日7時間程度)

2014年度学生野球資格回復研修制度
学生野球資格回復者一覧

資格回復承認 No.	氏　名
S-0649	河野　博文
S-0692	深沢　和帆
S-0750	河野　友軌

(上記は2015年4月23日～5月13日までに新たに承認された方の一覧です)

Topics 03 技術セミナー

OBクラブ野球指導者養成・認定制度事業
《技術セミナー》2015年度開催予定

「技術セミナー」は、OB相互の勉強会です。講師も参加者も同じ元プロ野球選手です。講師のお話をきっかけにして、みんなで考え、意見を交換することで各自が理論や指導の引き出しを増やしていきます。技術論にはいつも花が咲き、とても楽しいディスカッションが繰り広げられています。

このセミナーは、'98年に廣岡達朗さん(当時:OBクラブ会長)が「OBも勉強しなくては!」と始めた事業です。開催した回数は、述べ200講座を数えるまでになりました。このセミナーの実績が、「学生野球資格回復研修制度」の実現に大きく貢献したのは言うまでもありません。

指導者不足の問題に直面している日本野球界、プロ野球OBへの期待はますます高まっています。ぜひこのセミナーに参加して、研鑽に努めましょう!!

また、受講後にレポートを提出することで、「全国野球振興会野球技術指導員登録証」を取得できます。登録証取得者は、他団体の指導者資格制度において課題の一部受講免除などを受けることができます。

■ 全国野球振興会 公認野球技術指導員 NEW!!

指導員 No.	認定日	氏　名	代表出身球団
15-0304	2015.4.1	渡邉　孝博	ヤクルト
15-0305	2015.6.1	小川　清一	巨　人

※「技術セミナー」を受講し、所定の課題を修了した方が「野球技術指導員登録証」を取得できます。

〔2015 年度技術セミナー開催予定〕

地　区	開催日 (10：00 ～ 17：00)	講　師
関東地区(東京都内)	7月18日(土)	石毛 宏典 伊原 春樹 河村 健一郎 駒田 徳広 城之内 邦雄
東海地区(名古屋市内)	8月22日(土)	黒田 正宏 齊藤 明雄 廣瀬 哲朗 山崎 武司
九州地区(福岡市内)	9月12日(土)	外木場 義郎 里崎 智也 立花 龍司 (ほか調整中)
近畿地区(大阪市内)	9月27日(日)	中村 紀洋 (ほか調整中)
中国地区(広島市内)	10月17日(土)	(調整中)

※ OB会員の皆さんには、おハガキにて詳細をお届けします。

高校野球100年 ～それぞれの時代と甲子園に馳せる想い～

杉下 茂
〈元中日／投手〉

Profile
帝京商業中学校（旧制）
（'39～'44）

私たちの時代も甲子園は目標でした。ただ、私にとっての甲子園は“夢”で終わりました。

旧制中学帝京商業1年生の時、東京代表になりながら、学校への不祥事疑惑が起こり、出場を断念。2年生の時は体調を悪くし、練習もろくにできませんでした。3年生は、東京大会で優勝したものの、太平洋戦争により社会情勢が悪化したことで甲子園大会は中止。4年生では、戦時下の国家高揚という狙いもあったのでしょう、厚生省主催による“まぼろしの甲子園”が行われることになりましたが、惜しくも東京代表決定戦でサヨナラ負けを喫しました。5年生のときには、もはや野球どころではないと、高校野球、大学野球、プロ野球も全面中止です。手が届くところまで行きながら、あと一歩のところで掴むことができなかった。私にとっては“夢”の場所です。

私たちの時代は、自分なりの練習を独学でやっていました。今は、野球部に監督、コーチがいて指導してくれる。いい指導者というのは、選手にとってのよき「相談者」であること。命令ではなく、選手にどうしたいか聞く耳をもつことだと思います。元プロ野球選手が学生野球を指導できる機会が拡がったことは喜ばしいことです。皆さんが夢の伝道師として子どもたちに寄り添った指導で活躍してくれることを期待しています。

木村竹志（石井毅）
〈元西武／投手〉

Profile
和歌山県立箕島高等学校
（'79～'81）
甲子園出場4回　優勝2回

甲子園は私の人生そのものです。甲子園がなかったら、夢や努力や達成感を得られていなかった。星陵高校戦で得た17・18歳の経験は今も生きています。

小学生の頃、箕島高校が甲子園で優勝し、私にとっての身近な存在であり、憧れになりました。小学4年生から高校卒業まで、天候に関わらず毎日20円のお賽銭をもって、近所の氏神様と3km先の神社に通い、走り込みや階段140段10往復などのトレーニングを重ねました。「甲子園で優勝すること！」それがぼくの明確な目標だったからです。この日課がメンタルの強さにつながり、優勝するための要素になったと思います。

星陵戦では、延長12回、16回もビハインドから追いつくことができた。それは、守りの面で「1点目を獲られたら、2点目を獲られない。最後まで“勝ち”をあきらめない」ことを実践できたからです。

私は今、キッズベースボールプログラムという取り組みに力を入れています。野球人口の減少に危機感を感じ、幼少時の子どもたちに野球にふれる機会を提供しています。相手の取りやすいボールを投げるキャッチボールは、人としての大切なことを教えてくれます。幼い子どもたちへ投げかけたボールがやがて未来の世界につながっていく。そんな取り組みにこれからも一野球人として励んでいきたいと思っています。

仁志 敏久
〈元巨人／内野手〉

Profile
常総学院高等学校
（'87～'89）
甲子園3回出場　準優勝1回

「自分の人生が変わった場所」。それが私にとっての甲子園です。1年生で甲子園の土を踏み、準優勝したことで、私に対する周りの目が変わりました。注目が高まったことで名前だけがひとり歩きし始めたのです。評判に比して実力が伴っていなかった私は、自分自身を見る目を変えていく必要がありました。試合でのノルマのハードルを上げ、己に厳しさを課しました。他者からの評価に実際の自分を近づけようと努力することで、自分を変えていくことができたのです。また、社会的な道徳・倫理観を身につけることができたのも高校野球での木内監督（当時）の熱心な指導によるものでした。

今では、度々母校に赴くようになったことで、高校野球の指導とプロ野球の指導の違いを感じています。プロは技術指導がメインになってしまうが、高校ではそうはいかない。いろんな子どもたちが部活動に参加しています。“技術向上”の前に見つめるべき一人ひとりの環境があることを理解していかなければならないと思っています。

甲子園100年。様々な環境を乗り越えながら歩んできた歴史は感慨深いものがあります。日本球界の土台ともいえる高校野球が今後も繁栄し、変わらず青少年の夢と教育の場であり続けてほしいと思います。また、プロと学生野球の垣根がさらに緩和され、清いルールの下、ともに進歩していってほしいと願っています。

Special Interview

安斉 雄虎

あんざい　たけとら

2010年、向上高校からプロ野球選手への道を歩み始めた安斉雄虎さん。
190センチの長身から投げ下ろされる直球は威力十分だった。
しかし、その道は4年で閉ざされることになる。
「どんな形であれ野球に携わっていたい」と23歳の若さで
次のステージへと踏み出した。

「その人にあったものを提供したい」

――昨年11月入社、仕事には慣れました?

ちょうど半年くらいで、大分慣れてきましたね。

――お仕事の内容は?

販売がメインの接客ですかね。あとはお客様で個々に来られた方を指導もしています。一番はバット。振っているのを見て、ちゃんと振れているかどうか。

――そこまで見るのですか?

そうですね。やっぱりいいバットを皆様欲しいですし、それにはちゃんと振りきれているかを見てあげないとその人に合っているかどうかがわからない。押し付けるのではなく、その人に合ったものを提供したいですね。

――入社当時に戸惑ったことは?

商品の陳列を覚えることはできても、この商品は何がいいのですか？ このオイルとこのオイルは何が違うのですかって聞かれて。たしかにデザインは違うけど‥‥。何が違うのか全然わからなかったですね。現役時代はメーカーから頂いたものを使っていただけなので。学生の頃も理由があって購入していたわけではなかった。先輩に聞いたり、カタログを見たり、お客様を待たせてばかりいましたね。今は野球の商品についてはある程度は大丈夫になりましたね。でも野球の売り場の隣がバスケットボールコーナーなので、お客様に呼ばれて行っても知識が浅くまだまだですね。

毎回好評の虎ちゃん野球教室

「プロ野球での経験はいきている」

――安斉さんにとってプロ野球ってどんなところだった?

いい経験もできたところだと思うし、すごく厳しい世界だったなって。1年目はファームですごくつかめたものはありました。でもそれはその時がよかっただけで、そのあとに怪我をしてしまったので。そこから戻れなかったですね。復帰しても思うような投球ができなかった。どんどん新しい選手も入ってきますしね。高校の時もプロに入った時も流れで入っていたから、戦力外通告を受けた後、いい時間を過ごせたかな。自分から動いて、トライアウトに臨むためにーからトレーニングをし直して。

――その後、独立リーグの富山サンダーバーズへ

テストで入れてもらった感じですね。復活の兆しを自分で感じていたら、もしかしたら今も野球を続けたいたかもしれない。開幕2戦目から投げさせてもらって、そこでダメで。そのあとも良くなくて。8月に地元から比較的近い群馬県での試合で投げさせてもらって。その時もポンポンって打たれた。難しいかなって。でも打たれたから逆に“もういいかな”って思えましたね。ケガから3年経ってもなかなか調子があがってこなかった。引退は周りから早いっていわれたけど、自分の実力と理想とがかけ離れてやっているよりはいいかなと。独立リーグで生活が苦しくて辞めたのかと言われるけど、全然そんなことはなかった。

――プロ野球での経験はいきている?

いきていますね。高校、大学で野球を続けた人もある程度知識があると思う。でも、自分は一流選手を間近で見てきた。やっていることが違った。自分は活躍できなかったけど、そういう環境にいれたことで知識を得られたので、それをどんどん広めていきたいですね。小学生には難しくても親御さんに話してね。

「どんな形であれ野球に携わりたい」

――今の職場に行く着くまでの経緯は?

9月に富山から帰ってきて、確定申告でお世話になっていた会社に少しの期間だけ雇ってもらいました。就活をしながら、営業に連れていってもらったり、そこでマナーの勉強をしたり。それから縁あって、野球に関われるオーソリティを紹介してもらって決めました。

――5月10日のOBクラブの野球教室はどうでしたか?

楽しかったですね。地域もあるのですが、コーチの方たちも協力的で。現役の時に寮長だった稲川誠さん（元大洋）や齊藤明雄さん（元大洋）にも会えて。ベイスターズOBも多くて指導しやすかったですね。月に一回、店舗でやっている野球教室も楽しいですね。“虎ちゃん野球教室”もお陰さまで定員いっぱいです。

――今の目標や夢は?

どんな形であれ野球に携わっていたいですね。高卒で野球しか知らなかったので。今はまず野球少年たちがいっぱい集まってきてくれるスポーツオーソリティにしたいですね。

安斉 雄虎
1991年10月28日生まれ。
神奈川県座間市生まれ
横浜ベイスターズ、DeNAベイスターズ
('10～'13)

店舗情報
株式会社 メガスポーツ
スポーツオーソリティ 港北ニュータウン店
〒224-0032
神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央14-12
港北KEY　SOUTH内
・横浜市営地下鉄センター南駅前

現役を引退したあとのステップアップに

新たなサービスを開始!

OB会員限定!!

(株)パソナマーケティングと提携

「相談する人がいなかった…」

「現役を引退することになって、目の前が真っ暗になりました。誰に相談してよいか…。正直、途方に暮れました」。

現在、自ら起業して販売会社を起ち上げた某プロ野球OBの方が、ユニフォームを脱ぐことになった当時を思い返して胸の内を明かしてくれました。この言葉をお読みになって首を縦に振った方もいらっしゃるのかもしれません。

2014年シーズンを限りに現役を退いたプロ野球選手の進路調査結果(5月12日、NPB発表)によると、130名の戦力外選手/現役引退選手(日本人選手)のうち、現役続行、球団スタッフ、他の野球団体、野球解説者など、野球界に何らかの形で留まることとなった人は91名。残り39名のうち本年4月30日までに一般企業などへの就職が決まった方が17名あり、22名は転身先が未定という報告が開示されています。

「第二の人生」の扉を開けるには、「どうすれば…」という目には見えない壁を感じた方もあったかもしれません。先輩、知人、友人のアドバイスをいただいて、第二の人生を歩み始めた例も多々ありますが、相談の前に「自分が果たして新たな社会でやっていけるだろうか」という不安と背中合わせになることが少なくないようです。

「適切なアドバイスがあったら…」先ほどのOBの方は、そのように漏らしたものです。

有料の相談・講座・研修が無料に!

このたび、当振興会は営業・販売職に特化した専門人材サービスとマーケティング支援を手掛ける「株式会社パソナマーケティング」と提携し、プロ野球選手が現役を引退したあとのステップアップに向けたセカンドキャリアサポートをより充実したものにしていくことになりました。

企業と人のマッチング(紹介相談)の前に、一歩を踏み出すときの不安を取り払っていただくことを目途に、当振興会の正会員は、会員限定の支援サービスを受けることができることになりました。支援サービスの内容は【別表】のとおりですが、カウンセリング、研修、講座は同社の専門講師が指導にあたります。「わからないこと」「不安になること」を相談することができ、適切なアドバイスも期待できます。もちろん、秘密は厳重に守られます。

この相談は、通常有料(一部無料)で受けるものですが、当振興会の正会員に限り、無料で受けることができます。相談を受けることが本サービスの特徴で、直接、就職先を案内することを確約するものではありません。他の就職案内・紹介の企業を通じて職業を探し求めることもOKです。もちろん、相談内容によっては同社の人材派遣・紹介について話をすることもできます。

支援サービスの条件・対象は?

このサービスを受けるには、以下の項目が条件となっています。

・支援対象:当振興会の正会員であり、かつ一般企業の就業経験が無い方、40歳までの方が対象。

・支援回数:上記支援サービスは各1回まで受けられること

・支援エリア:当座、東京・大阪の同社拠点に赴くことのできる方

本サービスは、これからOBになっていく現役選手への一助とし、そのために当振興会への入会を促すことが目的ではありますが、もちろん、既に正会員である皆様をも対象としています。上記条件(年齢)などについて、個々にご相談がある場合は、遠慮なく当振興会事務局までご相談ください。

パソナグループについて

パソナグループは、創業以来「社会の問題点を解決する」という不変の企業理念を掲げ、"年齢や性別に関わらず、誰もが自由に好きな仕事を選択でき、それぞれのライフスタイルに合わせた働き方のできる社会"の実現を目指し、常に新たな社会インフラを構築してきました。幅広い分野に精通したグループ企業の総合力で、人材ビジネスはもとより、人々の生活を豊かにする様々なサービスを展開しています。

このほか、当振興会では引退後の転身のご相談窓口として、これまでも以下をご紹介してきております。併せてご相談に応じていますので、お気軽にご連絡ください。

・星槎大学
(教員免許取得ができる唯一の通信教育)
・早稲田大学eスクール

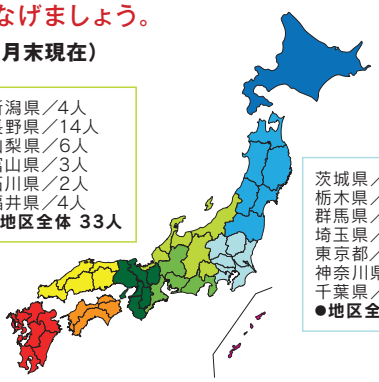
・株式会社道とん堀　ASS
(セミナー開催・企業紹介等)

	支援サービス	内　容	時　間	一般スタッフ	登録スタッフ	当会正会員
1	キャリアカウンセリング	個人の興味、能力、適性から望ましいキャリアの選択を支援	1.0時間	有 料	無 料	無　料
2	ビジネスマナー研修	挨拶、名刺交換、電話対応	2.0時間	有 料	無料(一部有料)	無　料
3	ビジネススキル研修	キャリアデザイン講座、OA研修、職種別専門研修等	3.0時間	有 料	有 料	無　料
4	履歴書の書き方講座	企業向け履歴書の書き方や履歴書から見た受け取り方について	1.0時間	有 料	有 料	無　料
5	面接対策講座	印象、受け答えなど実際の面接を想定した講座	1.0時間	有 料	有 料	無　料
6	お仕事案内　※	派遣・紹介予定派遣・人材紹介業務のお仕事案内		×	○	○

※ お仕事案内を確約するものではありません

未入会の皆さんへ声をかけましょう!!OBの皆さんの輪つなげましょう。

全国野球振興会OB会員分布図(2015年7月末現在)



福岡県/75人
佐賀県/3人
長崎県/6人
熊本県/22人
大分県/11人
宮崎県/6人
鹿児島県/10人
●地区全体 133人

国外/2人

合計/1300人

鳥取県/2人
島根県/2人
岡山県/8人
広島県/57人
山口県/4人
●地区全体 73人

香川県/10人
徳島県/11人
高知県/10人
愛媛県/11人
●地区全体 42人

滋賀県/13人
京都府/12人
奈良県/12人
和歌山県/8人
大阪府/101人
兵庫県/140人
●地区全体 286人

静岡県/23人
愛知県/85人
岐阜県/7人
三重県/10人
●地区全体 125人

新潟県/4人
長野県/14人
山梨県/6人
富山県/3人
石川県/2人
福井県/4人
●地区全体 33人

茨城県/16人
栃木県/9人
群馬県/8人
埼玉県/71人
東京都/243人
神奈川県/146人
千葉県/67人
●地区全体560人

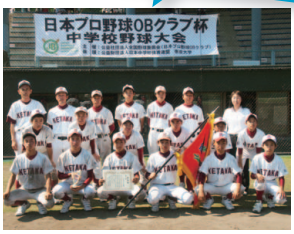
北海道/13人

青森県/1人
秋田県/5人
岩手県/4人
山形県/0人
宮城県/11人
福島県/4人
●地区全体25人

沖縄/8人

日本プロ野球OBクラブ杯 4&5月開催報告

『後援：帝京大学』



2015年度、OBクラブとして最初の事業がOBクラブ杯の岩手県大会で、優勝したのは北上市立北上中学校。

茨城県大会は準決勝で昨年覇者の千代川中学を破った神栖市立波崎第二中学校が優勝。

鳥取県大会は鳥取市立気高中学校が延長10回のプレーオフを制しました。

■ 大会結果

会 場	開催日	優勝校	準優勝校	3位校
岩手（第4回）	4月26、29日	北上	水沢	滝沢南
				前沢
茨城（第2回）	5月9、10日	波崎第二	岩井	千代川
				松岡
鳥取（第5回）	4月23、24日	気高	鳥取大付	東山
				弓ケ浜

「野球知識検定」に講師を派遣

講演会

野球の物知り博士たちが、その知識と記憶力を試す「野球知識検定」（主催・野球知識検定実行委員会）が6月14日（日）に東京・西巣鴨の大正大学で開催され、当振興会から八木澤荘六理事長が、ゲストとして講演会に出演しました。

同検定は、2010年9月から始まり、現在は東京と大阪で年に2回ずつ開催されている野球ファンの「腕試し」として知られ、同日の会場には、午前の部に約100名、午後の部に約50名が挑戦、50分間のペーパーテストののち、ゲストを交えてのトークショー（50分）という構成になっています。ランクは2級から5級、6級まであり、新聞社のベテラン記者でも舌を巻く、音を上げるという内容。プロ・アマの記録やトリビア、野球規則に関わる内容など、出題も幅広いものがあります。

トークショーでは、ゲストへの一問一答のほか、ゲストにまつわる即席問題があり、「センバツに出場して優勝した八木澤投手がその大会で投げたイニング数の合計は？」という超難問も…。正解者にはゲストの直筆サインボールがプレゼントされました。

会員の皆さんの周辺に野球知識自慢の方がいましたら、ぜひ話題にしてみませんか？

公式サイトは「野球知識検定」で検索を！

座間市野球協会（学童部）開催の少年少女野球教室に講師を派遣

野球人口の減少に歯止めを！　神奈川県座間市の「座間市野球協会・学童部」は、市内在住の未就学児童から小学校4年生までを対象に、同市内の相模川河川敷グラウンドにおいて、野球体験のイベントを開催しました。この教室に、当振興会から坂巻豊さん（元サンケイ）、井坂興さん、原俊介さん（ともに元巨人）の3名を派遣し、主に未就学児童にティーを使ったバッティング体験の指導にあたりました。

同事業は、昨年同市内で開催された当会の「第20回ダイワハウス全国少年少女野球教室」で小学校低学年の児童にティーを使用した講習を行ったことが好評で、同協会が主体となって市内の広報誌、タウン誌を通じて声をかけたところ、未体験の児童660人が参加。すでにチームに所属している学童約300人の練習風景を公開する傍らで、プロ野球OBによる打撃指導を行ったものです。「実際に野球を見てもらって、触れてもらう行動を起こさないと子どもは集まらない」（同協会学童部・阿藤充部長）。この試みによる種蒔きで、座間市に大きな野球の花が咲くことを期待します。

キッズ・ベースボール・プログラム（近畿地区）

2015年の取り組みについて

幼少児童を対象とした野球教室の取り組み「キッズ・ベースボール・プログラム」では、このほど近畿2府4県在住の正会員を対象に、講師としてご協力いただける会員様の登録を行い、6月末日現在19名が登録されました。

これを受けて、講師在住地域での実施を目指し、幼稚園、保育園へのアプローチをするとともに、指導内容をマニュアル化した資料を登録者の方々に配布しました。

また、公式サイトでは、この取り組みを紹介するページを公開しています。とくに幼少児童を指導する動画を「準備・練習編」「ミニゲーム編」に分けて開示しています。また、講師に配布しましたマニュアルも開示しています。パソコン、スマホから内容を見ることができますので、ぜひとも他地域の方もご参考ください。お気づきの点などがありましたら、内容のさらなる充実のためにお知らせください。

本年度は、トライアルとして近畿地区を中心に行っていく予定です。

スポーツフェア和歌山会場に行ってきました!

in 和歌山県湯浅町

6月7日（日）和歌山県湯浅町にてスポーツフェアが開催されました。

会場のなぎの里球場には元気な野球少年少女が432名集まり、OB24名が野球教室を行いました。

ドリームゲーム前の“プロに挑戦”というアトラクションでは、会場の隣町・広川町ご出身の上川誠二さん（元ロッテ）がバッター、そのバッター上川さんに挑戦したのが上川さんのお兄さんという、とても珍しい兄弟対決もありました。

チャリティーゴルフコンペ 開催概要

親交を深めよう!!

日頃から当振興会の活動をご支援ご協力いただいております賛助会員様を含むファンの皆さんとOB会員が集う「チャリティーゴルフコンペ」の開催概要が決まりました。

当日開催します「チャリティーホール」「オークション」での収益金は、引き続き「東日本大震災復興事業」並びに開催地での野球振興、スポーツ振興への基金とさせていただきます。

OB会員、賛助会員様をはじめどなたでも参加可能ですので、是非とも皆様お誘い合わせの上ご参加ください。

	第22回 関東地区	第16回 九州地区	第10回 関西地区	第4回 東海地区	第4回 中国・四国地区
日程	10月26日(月)		11月19日(木)	12月9日(水)	12月15日(火)
会場	ロイヤルスターゴルフクラブ (27H、OUT、IN、NEW) 〒292-0502 千葉県君津市平山 32-1 TEL:0439-29-3111	調整中	山の原ゴルフクラブ (36ホール:山の原OUT、 IN、恋里OUT、IN) 〒666-0154 兵庫県川西市山の原字 下恋里12 TEL:072-794-1621	愛岐カントリークラブ (27ホール:中、東、西) 〒509-0238 岐阜県可児市大森 1501 TEL:0574-64-1211	鷹の巣ゴルフクラブ (18ホール:OUT、IN) 〒738-0204 広島県廿日市市河津原 137-2 TEL:0829-74-3111
参加費	当会会員: 3,000円 賛助会員:22,000円 一　　般:25,000円		当会会員: 3,000円 賛助会員:22,000円 一　　般:25,000円	当会会員: 3,000円 賛助会員:22,000円 一　　般:25,000円	調整中
	プレー費、乗用カート費、キャディ費、昼食費、パーティー費、賞品費を含む				
募集人数	240名・60組		160名・40組	240名・60組	180名・45組

大和ハウス工業株式会社様からのお知らせ

全国少年少女野球教室のメインスポンサーである『大和ハウス工業株式会社』様より、下記の割引商品のご提案がありました。

会員の皆さまで、お住まいの『新築』『リフォーム』『購入』等ございましたら、この機会にぜひ、下記お問い合わせ窓口にご一報いただきたく存じます。

なお大和ハウス工業株式会社様と当振興会では、平成22年4月1日に商品割引の業務提携の契約を締結しております。

【業務提携内容】キャンペーン商品、通常販売と異なる商品等は対象物件より除きます。

商品種別	契約形態	※1対象価格	割引率	備考
鉄骨一般住宅	請負金額	本体価格	3%	
※2木造一般住宅	請負金額	本体価格	3%	
※3その他の住宅	請負金額	建物価格	工事内容毎の取決め	
リフォーム工事	請負金額	見積価格	3%	100万円以上の請負金額
分譲住宅	売買価格	建物価格	3%	物件対応の指定物件は除く※4
分譲マンション	売買価格	分譲価格	1%	物件対応の指定物件は除く※4

※1対象価格は全て消費税を除いた金額となります。 ※2木造一般住宅は建築場所の相談が必要となります施工外エリアがございますので、建築場所のご相談をしてください。 ※3その他の住宅とはコンクリート住宅の新築・建替え、アパートの新築・建替え、併用住宅・野球場の建築・スポーツ施設の新築・建替え、ビルの新築・建替え等範囲が広いのでご相談ください。

例) 会員様の家を建て替えすることとなり大和ハウスに相談。建物の本体工事(一般的によくいわれている坪単価に相当する工事価格)の3%の割引をさせていただくこととなります。
本体工事金額2500万円でしたら75万円の割引となり2425万円(税抜)の請負工事金額となります。

【問い合わせ窓口】

〒273-0032　千葉県船橋市葛飾町2丁目406番
Tel 047-435-6817　Fax 047-435-6004 携帯電話 080-2457-9184
携帯電話アドレス　dh292224@docomo.ne.jp
e-mailアドレス　m292224@daiwahouse.jp
大和ハウス工業株式会社 京葉支店 住宅営業課　鈴木 茂(すずきしげる)

担当者プロフィール

◎ 1968年10月14日生まれ(現在46歳)
◎ 埼玉県所沢市出身、錦城高校(西東京)、千葉商科大学(千葉県大学リーグ)にて硬式野球部に所属
平成3年に大和ハウス工業に入社し、東京→千葉→埼玉→千葉の転勤を経て現在に至っております。
◎ 資格:宅地建物取引主任者、2級土木施工管理技士、2級建築施工管理士、相続診断士、損害保険募集人資格者

担当者より一言

はじめまして大和ハウス工業の鈴木と申します。建築(住宅・アパート・ビル・野球場建築)の相談はもちろんのこと、土地購入の相談、土地の有効活用相談、相続相談 など、学生時代に野球で鍛えた体と精神をもって皆様のご計画のお手伝いをさせて頂きたいと存じております。まずはご連絡をください。日本全国からの相談をお待ちしております。 以上

当選高確率!!

Present Corner

プレゼントコーナー

応募方法

OB直筆サイン色紙（各1名様）
OB直筆サインボール（各1名様）

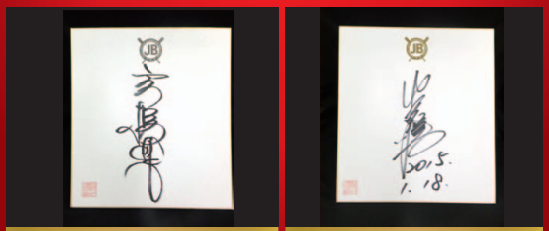
ご希望の方は、はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、ご希望のOB名、OBクラブへのご意見・ご要望などを明記の上、下記の宛先までご応募ください。締め切りは、8月31日（当日必着）。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって替えさせていただきます。

〒130-0012
東京都墨田区太平4-13-2 太平サクラビル2階
公益社団法人全国野球振興会
「OB NEWS Vol.66　プレゼント」係

OBの直筆サインボール

石井 貴 さん　杉下 茂 さん　西山 秀二 さん

OBの直筆サイン色紙　色紙はロゴ箔押し&判押しのオリジナル



高橋 直樹 さん　小宮山 悟 さん

2015年の新商品紹介

日本プロ野球OBクラブ オフィシャルカードセット

完全限定生産「歴代最高記録列伝」発売!

プロ野球の記録が凝縮された
日本プロ野球OBクラブオフィシャルカードセット「歴代最高記録列伝」

㈱エポック社制作・発売のオフィシャルトレーディングカード第13弾が7月11日に発売されました。今回のテーマは、「歴代最高記録」。「記録のスポーツ」と呼ばれるほど、多種多岐にわたる記録の数々が野球ファンを魅了してきました。先達の最多記録、最短記録を目標にプレーする…これこそがプロ野球の醍醐味といえるでしょう。記録が記憶を呼び起こす…今回のカードは、まさにそのような使命を背負って世に送り出されました。本シリーズでは24名のレジェンドが紹介されています。

1ボックスに直書き直筆サインカードを2枚以上封入！　日本初の直書き直筆サイン入りブックレットカードも実現。さらに、高級インサートカードも1ボックスに1枚を封入するという、コレクターにはたまらないプレミアムな仕上げとなっています。

本体価格15,000円＋税で全国有名カードショップなどで発売中。賛助会員入会促進の一助としても、販売して参ります。ぜひ、プロ野球史に触れ、その醍醐味をカードから感じ取っていただきたい逸品としておススメします。詳しくは、㈱ミント様ならびに当振興会の公式サイトをご参照ください！

●企画・制作／当振興会　●発売元／株式会社エポック社

2015 SUMMER トレカフェスタ! TOKYO

スポーツカードファン必見!!

株式会社ミントが主催するスポーツカードファンを対象としたトレカフェスタ!　TOKYO 2015　SUMMERのステージ上で佐々木信也さん（元大毎）のトークショー、サイン会及び撮影会が行われました。スポーツニュースの先駆けである「プロ野球ニュース」の総合キャスターを務められてた往年の語り口は健在で、今は無き球団、高橋ユニオンズ時代の話にも来場された皆さんは釘付けでした。

また、会場では当会ブースも設け賛助会員募集などPR活動も併せて実施しました。

・日　時：2015年7月5日（日）
・会　場：東京都立産業貿易センター
　　浜松町館2階展示場（東京都港区）
・参加OB：佐々木 信也

特別連載
Vol.25

金田正一投手（1988年野球殿堂入り）着用の読売ジャイアンツユニホーム

1960年代のセ・リーグを代表する大きなトピックとして、65年に巨人のV9（9年連続日本一）が始まったこと、69年に金田正一投手（国鉄～巨人）が日本プロ野球最多となる通算400勝を達成したことがあげられます。

金田投手は2リーグ制がスタートした1950年の途中に愛知の享栄商高から国鉄スワローズに入団します。1年目に8勝、2年目には22勝をあげ、そこから14年連続してシーズン20勝以上というとてつもない活躍で、球史を代表する投手となります。63年に当時の通算最多勝利記録だった別所毅彦投手の310勝を抜き、65年に巨人に移籍、69年に日本プロ野球では前人未到の通算400勝を達成、同年限りで引退しました。

川上哲治巨人軍元監督の著書「遺言」（文藝春秋刊）によると、「巨人はよく練習したが金田の練習量はそれ以上で、ONが感心したくらいだから他の選手はついていけなかった。あれほどの大投手がこれほどの練習をする。裏を返していえば、あれだけの練習をするからこそ大投手になれたのだということだから、なによりもナインへの無言の教訓になった。このプラスは大きかった。くしくもこれがV9の始まりの年だ。」と、金田投手の入団が与えたV9への影響を紹介しています。

写真は金田正一投手着用の読売ジャイアンツのユニホームで、当館の「プロ野球の歴史コーナー」の金田投手の展示ケースで展示しています。かつて同コーナーには、ロッテ監督時代のユニホームを展示していましたが、8年ほど前のある日、金田さんが来館した際にその展示をご覧になり、「ワシは監督としてではなく、投手として殿堂入りしたのだから、今度現役時代のユニホームを持ってくるよ」と仰り、後日お持ちいただいたのがこのユニホームです。V9時代の厚手のウール地のユニホームで、現在も同コーナーで展示しています。

公益財団法人 野球殿堂博物館　学芸員　関口 貴広

JB newsletter

・事・務・局・便・り・

OB club Newsletter Vol.8

この号が皆さんに届く頃は、夏の甲子園がはじまる時期と思います。

当振興会の正会員の殆どは『高校野球経験者』なので、この季節になると青春の1ページを思い出すことでしょう。

小生の高校最後の夏（昭和49年）は、高校野球界の歴史を変える大きな改革がありました。夏の地区予選会から『金属バット』の解禁です。

今では当たり前になった金属バットですが、初年度のため1校に2本の割り当てとなっており、勝ち進んでいくと、対戦したチームから同バットを借りて、次の試合に臨むという時代でしたが、これは田舎のチームだったからでしょうか？

前置きが少し長くなってしまいましたが、これからが本題です。

去る6月22日（月）に当振興会の『平成27年度定時総会』が東京都内で開催され、今回唯一の議案であった『平成26年度・決算の承認に関する件』が承認されましたことを改めてご報告いたします。

今回当振興会では出席・委任状の合計数『1,000通』を目標としており、達成に向け締切間際に未提出の会員の方に電話で返送のお願いをさせていただきました。

会員の皆さんにはご迷惑をおかけいたしましたが、総会当日までにあと15通足りない985通が集まりましたことをあわせてご報告いたします。

それを踏まえて、今後事務局では『総会欠席＝委任状提出』のわかりやすい記載方法を検討してまいります。

また、当振興会では業務の効率化を今以上に推進するため、7月1日より主に学生野球資格回復等の事業の担当部署であった渉外部を同事業のノウハウが確立したため廃止し事業部に吸収。

よって、渉外部の島田部長と加古さんは事業部に異動となりました。また、理事長・在京の副理事長・専務理事の3名が業務を行っていた『事務局長』に、吉川事務局次長兼事業部長が昇格しました。

なお、前者は総会後の臨時理事会、後者は5月26日の理事会にて承認されましたことをご報告いたします。

季節はまだ暑い夏。高校球児に負けず、身体に気を付け、乗り切りましょう。

公益社団法人全国野球振興会

平成27年度 定時総会

去る6月22日に定時総会が開催され、第1号議案が承認されました。正(OB)会員の皆さま、ご協力誠にありがとうございました。

1. 日　時:平成27年6月22日(月)15:00～15:46
2. 会　場:KFC Hall&Rooms 国際ファッションセンター 11F「115」(東京都墨田区横網1-6-1)
3. 議決権総数1,299
4. 出席正会員数985名
   内　訳(正会員本人出席39名、委任状出席946名)
5. 報告事項　●監査報告　●平成26年度事業報告
6. 議　案
   ■第1号議案　平成26年度(平成26年4月1日から平成27年3月31日)決算承認の件
   ◇承認可決

公益社団法人全国野球振興会　平成26年度　事業報告　(期間:平成26年4月1日～平成27年3月31日)

■ 各種事業概略

〔公1.1〕 全国少年少女野球教室(自主事業)

開 催 日:5月11日(日)
会　　場:全国47都道府県48会場(東京都のみ2会場)
参加児童:9,622人(小学1年生～中学3年生)
派遣会員:402人

〔公1.2〕 全国アマチュア野球指導者講習会(自主事業)

実施期間:11月～2月
実施会場:5ブロック5会場(北海道地区/北海道札幌市、東北地区/青森県八戸市、北信越地区/長野県松本市、東海地区/静岡県静岡市、近畿地区/兵庫県西宮市)
参加者数:アマチュア野球指導者235人
(北海道地区26人、東北地区38人、北信越地区56人、東海地区78人、近畿地区37人)
派遣会員:20人(1会場あたり4人)

〔公1.3〕 全日本野球会議その他野球に関する団体との連携協力(受託事業)

開 催 日:1月16日(金)～1月18日(日)
実施会場:幕張メッセ(千葉県千葉市)
参加対象:野球指導者400人
派遣会員:15人

〔公1.4〕 日本高等学校野球連盟への協力事業(受託事業)

当年度の開催実績なし。学生野球資格回復研修制度が平成25年度から開始されたことにより、元プロ野球選手の個々の活動による高校野球指導が機会が増加。高校野球統括機関による当該講習の実施が見送られた。

〔公1.5〕 野球指導者養成・認定制度事業(自主事業)

①技術セミナーの開催(自主事業)
実施期間:5月～3月
実施会場:5会場(関東地区:東京都墨田区2回、東海地区:愛知県名古屋市、九州地区:福岡県福岡市、近畿地区:大阪府大阪市)
派遣会員:29人(1会場あたり5人～6人)
参加会員:当法人所属の正会員106人
指導員登録証取得者総数:303人
助 成 金:スポーツ振興くじ助成金

②学生野球資格回復研修制度に係る関連事業の開催(共同事業)
〔学生野球資格回復研修制度プロ研修会〕
実施期間:11月29日(土)、30(日)
実施会場:2会場(東京都世田谷区、大阪府吹田市)
参加者数:プロ野球出身者264人
〔プロアマ協議会〕
構成団体:一般社団法人日本野球機構
一般社団法人日本プロ野球選手会
公益社団法人全国野球振興会
公益財団法人日本学生野球協会
公益財団法人全日本大学野球連盟
公益財団法人日本高等学校野球連盟

〔公1.6〕 ベースボールスクール事業(受託事業)

実施期間:12月～2月(10回)
実施会場:明治神宮外苑室内球技場(東京都新宿区)
参加者数:中学3年生20人
派遣会員:15人

〔公1.7〕 社会貢献事業

①夢・未来応援プロジェクト ブルペン(自主事業)
開 催 日:1月16日(金)
会　　場:三郷市立彦郷小学校
参 加 校:三郷市立彦郷小学校6年生
派遣会員:1名

②障害者スポーツ教室(受託事業)
開 催 日:6月21日(土)、3月9日(月)
開催会場:埼玉県さいたま市、埼玉県川越市
派遣会員:4人(1回あたり2人)

③チャリティ事業・東日本大震災復興支援活動(主催事業)
〔中学校応援プロジェクト〕
実施時期:10月3日(金)～10月5日(日)　2泊3日
活動地域:岩手県気仙地区(陸前高田市、大船渡市、住田町)
参加対象:岩手県気仙地区中学校軟式野球専門部
派遣会員:11人
〔東日本大震災復興支援ティーボール交流大会〕
開 催 日:8月7日(木)
会　　場:西武ドーム(埼玉県所沢市)
参加対象:福島県からの避難児童及び大会参加児童
派遣会員:3人
〔イーストウェーブフェスティバル〕
開 催 日:11月9日(日)
会　　場:社会福祉法人あいのわ福祉会神明障がい福祉施設(東京都足立区)
参加対象:施設利用者及び近隣住民
派遣会員:3人
〔ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金グランドフィナーレ〕
開 催 日:12月23日(火・祝)
会　　場:有楽町駅前広場(東京都千代田区)
派遣会員:4人
〔エコボール活動〕障害者の雇用機会創出支援活動。

〔公1.8〕 各種少年野球教室(自主事業/受託事業)

①一般野球教室(受託事業)
実施時期:通年
会 場 数:8会場
参加対象:野球愛好者全般
派遣会員:14人

②ベースボール・キャンプ事業(受託事業)
開 催 日:8月5日(火)～8月7日(木)　2泊3日
会　　場:芦別市民球場、芦別市総合体育館(北海道芦別市)
参加対象:小学4年生～小学6年生　119人
派遣会員:7人

③キッズ・ベースボール・プログラム(自主事業)
実施時期:11月～2月
会 場 数:23会場(近畿地区)
派遣会員:27人

〔公1.9〕 講演会への講師派遣事業(受託事業)

実施時期:通年
会 場 数:7会場
派遣会員:8人

〔公1.10〕 OBオールスターゲームの運営協力事業(受託事業)

開催要望がなく、当年度の開催実績なし。

〔公1.11〕 スポーツフェアへの運営協力(受託事業)

実施時期:通年
会　　場:11会場(三重県伊勢市、岩手県金ヶ崎町、山形県鶴岡市、滋賀県守山市、静岡県藤枝市、茨城県古河市、徳島県阿南市、長崎県壱岐市、沖縄県糸満市、広島県三原市、佐賀県多久市)
派遣会員:188人(1回あたり16～18人)

〔公 1.12〕 日本プロ野球 OB クラブ杯事業 (自主事業)

実施時期:通年
大 会 数:15大会(岩手県、茨城県、鳥取県、佐賀県、宮崎県、群馬県、栃木県、福岡県、長崎県、鹿児島県、大分県、埼玉県、熊本県、千葉県、岡山県)
参加校数:235校
派遣会員:28人

〔収1.1〕 無体財産権使用事業

テレビゲームソフト、オンラインゲームへの当法人公認名義貸与のほか、メモラビリア商品へ当法人公認名義及び会員肖像権を貸与した。

〔収1.2〕 広告宣伝事業

当法人の活動を全般的にサポートする企業をオフィシャルスポンサーとして協賛を得る予定であったが、当該年度に対象となる企業はなかった。

〔収1.3〕 物品販売事業

野球用品メーカーと共同開発した公認グラブの販売を行ったほか、当法人推奨商品への名義貸与により販売益を得た。

〔共1.1・2〕 ゴルフ、ファンの集いの開催

①ゴルフコンペの開催
開 催 日:10月27日(月)、11月19日(水)、12月4日(木)、12月10日(水)、12月16日(火)
会 場 数:5回(関東地区/埼玉県東松山市、九州地区/福岡県嘉穂郡、関西地区/兵庫県加東市、東海地区/岐阜県多治見市、中国四国地区/広島県廿日市)

②感謝の集い
開 催 日:12月2日(火)
会　　場:東京ドームホテル(東京都文京区)

貸　借　対　照　表

平成27年3月31日現在

（単位：円）

科　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ資産の部			
1．流動資産			
現　金　預　金	106,297,265	115,134,082	-8,836,817
未　収　金	24,962,598	34,207,706	-9,245,108
前　払　金	864,885	496,448	368,437
貯　蔵　品	1,506,464	247,170	1,259,294
立　替　金	8,632	0	8,632
仮　払　金	13,483	0	13,483
流動資産合計	133,653,327	150,085,406	-16,432,079
2．固定資産			
(1) 基本財産			
定　期　預　金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
保　険　積　立　金	3,397,046	3,386,216	10,830
指導者認定事業積立金	27,458,118	27,458,118	0
公益目的事業資金	36,830,603	0	36,830,603
特定資産合計	67,685,767	30,844,334	36,841,433
(3) その他固定資産			
建　物　付　属　設　備	567,303	709,128	-141,825
ソ　フ　ト　ウ　ェ　ア	250,690	0	250,690
電　話　加　入　権	378,560	378,560	0
保　証　金	1,472,900	1,452,000	20,900
その他固定資産合計	2,669,453	2,539,688	129,765
固定資産合計	90,355,220	53,384,022	36,971,198
資産合計	224,008,547	203,469,428	20,539,119

科　目	当年度	前年度	増　減
Ⅱ負債の部			
1．流動負債			
未　払　金	1,777,098	4,272,847	-2,495,749
前　受　金	10,170,000	10,220,000	-50,000
講　師　預　り　金	83,889	125,881	-41,992
預　り　金	375,590	493,361	-117,771
賞　与　引　当　金	2,426,667	0	2,426,667
未　払　法　人　税　等	11,792,000	16,677,600	-4,885,600
未　払　消　費　税　等	2,382,700	3,513,600	-1,130,900
流動負債合計	29,007,944	35,303,289	-6,295,345
2．固定負債			
退　職　給　付　引　当　金	4,171,472	1,844,800	2,326,672
固定負債合計	4,171,472	1,844,800	2,326,672
負債合計	33,179,416	37,148,089	-3,968,673
Ⅲ正味財産の部			
1．指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2．一般正味財産	190,829,131	166,321,339	24,507,792
（うち基本財産への充当額）	20,000,000	20,000,000	0
（うち特定資産への充当額）	64,288,721	28,999,534	35,289,187
正味財産合計	190,829,131	166,321,339	24,507,792
負債及び正味財産合計	224,008,547	203,469,428	20,539,119

平成27年度定時総会を振り返って

6月22日、正会員の方39名の皆様のご臨席、また946名の委任状出席者のおかげをもって、『平成27年度・定時総会』を開催。平成26年度事業報告の後、今総会唯一の議案である『平成26年度決算承認の件』が満場一致にて承認されました。

昨年の定時総会時は、議長はルーキーであり、進行に手間取った場面もありましたが、二年目の本年は昨年の経験をいかし、ある程度余裕を持って会の進行ができたと思います。

投手は『マウンドでは孤独である』と言われますが、定時総会では理事の方々が野手同様に構えてくれ、また『同じ釜の飯』を食べた会員の皆様のご尊顔を励みにすることで落ち着くことができました。皆様に誌面をお借りしてお礼申しあげます。

冒頭に述べましたが、定時総会時には39名の会員の方にお忙しい中ご臨席していただきました。総会は決議の場であるためどうしても堅苦しく、限られた時間であるため、正会員の皆様が意見を述べることは難しい雰囲気です。

折角会場に足を運ばれた正会員の皆様と、総会終了時に『フリートーキング』として和気あいあいの時間を作れれば良かったなと悔やんでおります。

私の心情として『プロ野球という世界で同じ釜の飯を食べた』『プロ野球のチームのユニフォームに袖を通した』皆様の意見を直に聴くことが当振興会の発展につながると考えております。

皆様の意見を100%聞き入れる自信はありませんが、野球というチームプレーをやってきた者同士、腹を割って話す機会を増やしたいと思っております。その節はぜひ事務局までお越しください。お待ちしております。

平成27年度は昨期以上に『全力投球』で臨みます。会員の皆さまの今迄以上のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

公益社団法人全国野球振興会
（日本プロ野球OBクラブ）
理事長　八木澤 荘六

ブロック長会議

6月22日13時より、国際ファッションセンター会議室「112」において、平成27年度のブロック長会議を開催しました。

全国8ブロック（ブロック長は10名）を統括するブロック長による会議は、昨年度に引き続き総会と同日に開催され、担当役員、野球事業推進委員会委員長を含め21名が出席しました。

平成27年度がスタートして約3か月、これを踏まえ、全国的な取り組みで行う事業についての説明、意見交換を行いました。主な報告事項とテーマについては以下の通りです。

① 平成26年度公益目的事業報告
② 第21回全国少年少女野球教室　実施報告の件
③ 指導者養成・認定制度（技術セミナー）の開催の件
④ 学生野球資格回復研修会　平成27年度日程の件
⑤ その他の公益目的事業・会員管理について

INFORMATION

●事務局人事

就任報告

事務局長　**吉川　浩**

※就任日：平成27年7月1日付

●義援金収支報告

2014年4月1日　残高		¥322,283
収　入	10月27日　第21回関東地区チャリティーゴルフコンペ	¥406,500
支　出	インドアティーボール普及活動（福島県）	¥299,592
	残高（2015年4月1日現在）	¥429,191

※今後も、被災地での野球教室開催諸経費や野球用具提供への使途を予定しております。

●平成27年度　「都道府県代表幹事会」および「感謝の集い」の開催日決定のお知らせ

日　時：　2015年12月3日（木）　（時間と会場は追ってご案内します）

活動報告 2015年4月～6月

日にち		行事名（事業名）	場所
4月	4日(土)	四国アイランドリーグplus 2015 開幕戦 徳島－ソフトバンク	オロナミンC球場(徳島県鳴門市)
	5日(日)	富士通スタジアム川崎竣工記念始球式	富士通スタジアム川崎 (神奈川県川崎市)
	11日(土)	四国アイランドリーグplus 2015 開幕戦 香川－徳島	レクザムスタジアム(香川県高松市)
		2015年度 ルートインBCリーグ 開幕戦 群馬－武蔵	上毛新聞敷島球場(群馬県前橋市)
		2015年度 ルートインBCリーグ 開幕戦 信濃－日本ハム	松本市野球場(長野県松本市)
		2015年度 ルートインBCリーグ 開幕戦 富山－阪神	アルペンスタジアム(富山県富山市)
	12日(日)	2015年度 ルートインBCリーグ 開幕戦 福井－阪神	福井フェニックススタジアム (福井県福井市)
		2015年度 ルートインBCリーグ 開幕戦 新潟－福島	HARD OFF ECOスタジアム新潟 (新潟県新潟市)
	26日(日) 29日(水・祝)	日本プロ野球OBクラブ杯(岩手)	江刺中央運動公園野球場ほか (岩手県奥州市)
5月	6日(水)	スポーツフェア①	高田公園野球場(新潟県上越市)
	8日(金)	会計業務監査	当会(東京都墨田区)
	9日(土)	日本プロ野球OBクラブ杯(茨城)	ひたちなか市民球場ほか (茨城県ひたちなか市)
	10日(日)	第21回ダイワハウス全国少年少女野球教室	47都道府県48会場
	17日(日)	第2回座間市少年少女野球教室 (親子野球体験)	座間市　相模川グランド (神奈川県座間市)
	19日(火)	第5回財務委員会	KFCホール(東京都墨田区)
	22日(金)	第1回常務理事会	墨田区総合体育館(東京都墨田区)
	23日(土)	キッズベースボール・プログラム	みくにひじり幼稚園(大阪市西区)
	23日(土) 24日(日)	日本プロ野球OBクラブ杯(鳥取)	倉吉市営球場ほか(鳥取県鳥取市)
	24日(日)	スポーツフェア②	ボールパーク高岡(富山県高岡市)
	26日(火)	第1回理事会	墨田区総合体育館(東京都墨田区)
		賛助会員入会促進検討委員会	墨田区総合体育館(東京都墨田区)
6月	5日(金)	東京東ロータリークラブ　講演会	ホテルニューオータニ (東京都千代田区)
	7日(日)	スポーツフェア③	なぎの里球場(和歌山県湯浅町)
	14日(日)	野球知識検定	大正大学(東京都豊島区)
		スポーツフェア④	姫路球場(兵庫県姫路市)
	15日(月)	毎日新聞社「父の日企画」 「お父さんとキャッチボール」	毎日新聞本社(東京都千代田区)
	20日(土)	さいたま市障害者 スポーツ・レクリエーション教室「野球教室」	浦和総合運動場(埼玉県さいたま市)
	22日(月)	平成27年度　ブロック長会議	KFCホール(東京都墨田区)
		平成27年度定時総会	KFCホール(東京都墨田区)
		賛助会員入会促進検討委員会	KFCホール(東京都墨田区)
		第2回理事会	KFCホール(東京都墨田区)

会員情報

ようこそOBクラブへ!
中原 大樹さんが入会しました

引退して、現役時代にあれだけいい環境で野球をさせてもらって、ファンの方に沢山の声援をいただいていたことを幸せだったなと感じています。現在はサカイ引越センターで仕事をさせてもらっています。社会のルール、仕事の内容を覚えることにすごく苦労しています。働いてお金を得ることがどれだけ難しいか、お客様への対応も大切です。5月10日のOBクラブの野球教室で久しぶりに野球に関わりました。未来のある子どもたちに野球を教えられたこと、自分の経験したことを話せたことが私にとって大変、良い経験になりました。素直で元気な子どもたちと触れ合ってみて、私自身が元気をもらい、懐かしくも感じました。今後は福岡で野球の指導者をしたいなと思っています。自分の経験をこれからの子どもたちに伝えていきたいです。

◆中原 大樹プロフィール
1992年6月6日生まれ(23歳)
- 鹿児島県姶良市出身　内・外野手
- 鹿児島城西高校➡ソフトバンク('11～'14)

■新入会員一覧　2015年7月末日 現在

氏名	球団	年齢	ポジション
高森　勇旗	横浜	27	捕・内・外野手
中原　大樹	ソフトバンク	23	内・外野手
山北　茂利	中日	37	投手
吉川　輝昭	横浜	33	投手
浮島　徹士	ロッテ	46	内野手
兵動　秀治	広島	35	内野手
篠田　淳	ダイエー	44	投手
佐々木　誠	西武	56	トレーナー
田中　博明	西武	64	トレーナー
井脇　毅	西武	45	トレーナー
清原　大貴	阪神	26	投手

■訃報　謹んでお悔やみ申し上げます。

氏名	代表出身球団	逝去日	享年	生年
木村　由夫	巨人	2015年3月20日	91	1925
西村　俊二	近鉄	2015年4月2日	68	1947
宮崎　剛	大洋	2015年5月22日	96	1918
坂井孝四郎	南海	2015年5月25日	79	1935
白坂　長榮	阪神	2015年7月8日	92	1922
高橋　一三	巨人	2015年7月14日	69	1946

編集・発行人：公益社団法人全国野球振興会(日本プロ野球OBクラブ)　URL：www.obclub.or.jp　E-mail：info@obclub.or.jp

公益社団法人全国野球振興会
(日本プロ野球OBクラブ)
本部事務局：〒130-0012　東京都墨田区太平4-13-2　太平サクラビル2階
TEL：03-3626-8911　FAX：03-3626-8912
［事務局より］住所変更の際は、お手数ですが上記事務局までお知らせください

編集協力
株式会社デジタル・アド・サービス
発行日：2015年7月

Daiwa House®

大和ハウスグループ

共に創る。共に生きる。

大和ハウスグループは、

グループシンボル「エンドレスハート」に

お客様と私たちの永遠の絆と

私たちグループの連帯感を託しました。

人・街・暮らしの価値共創グループとして、

私たちは社会に新しい価値を築いてまいります。

大和ハウス工業株式会社
www.daiwahouse.com

スポーツで鍛えた その魂（スピリット）を教育に 活かしませんか？

星槎大学の通信制課程だからできる 自分に合った無理のないペースで今からスタート！

通信制課程により、日本全国、海外、いつでもどこでも働きながら学ぶことができます。

教員免許を取得して 学校教育の場で活躍したい

大学の卒業 ＋ 幼稚園、小学校の先生
中学校・高校の保健体育の先生 など

スポーツマネジメントの 分野で経験を活かしたい

スポーツ関連の企業、チームフロント
メーカー、スポーツショップなど

日本で唯一!!

通信で保健体育（中学・高校）の 教員免許の取得が可能に！

身近なことから共に生きることを科学する

星槎（せいさ）大学 【共生科学部】 通信制課程

星槎大学大学院 教育学研究科（修士課程） 小学校教諭専修免許状

お問い合わせ・資料請求（無料）
0120-82-2686

せいさだいがく 検索 www.seisa.ac.jp/